様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 610301	公共交通推進事業	主管課名	企画政策課
この事務事業の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域	課長名	柴田圭一
	施策	誰もが安心して出かけられるまち		
	基本事業	さんさんバスの充実		

(1)事業の概要

市内の公共交通空白地帯の解消や高齢者などの移動制約者の社会参加の促進、環境負荷の低減などを目的として、さんさんバス２路線を１日あたりそれぞれ２５便運行している。また、さんさんバスのバス停から離れた地域の対策として、乗合タクシーを運行しさんさんバスと接続させている。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	さんさんバスの運行に要する経費	千円
②		
③		

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	早朝の第１便に限り、市役所などを通過するバス停を設けたことによる大幅な所要時間の短縮や他の便においても運行路線の一部見直しによる所要時間の短縮などを柱としたダイヤ改正を１０月１日実施した。

26年度計画	■前年と同様 □変更あり	変更内容	

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

市民

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	人口	人
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

誰もが利用できる公共交通の確保をする
公共交通利用者を増加させる

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	さんさんバス利用者数	人
②	さんさんバスの運行本数	便
③	近隣市町のコミュニティバスとの連携数	路線

(4)結果(上位基本事業の意図)

安心して便利に公共交通を利用できる

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	利用者アンケートでやや満足以上の回答割合	%
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	千円	87,129	61,245	92,865	133,359	96,359	133,359
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	人	59,141	59,474	60,200	60,800	61,400	62,000
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	人	241,405	252,528	255,000	256,000	257,000	258,000
	②	便	25	25	25	25	25	25
	③	路線	2	2	2	2	2	2
(8)の結果の成果指標	①	%	51	53	54	55	56	57
	②							
	③							

(10)予算費目	会計	01 一般会計	款	02	項	01	目	01

(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	87,129	61,245	92,865	136,447	101,735	137,147
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	137	404	250	42,350	350	42,350
	一般財源	千円	86,992	60,841	92,615	94,097	101,385	94,797
人件費B		千円	8,329	8,197	4,449	4,449	4,449	4,449
	正職員従事時間×人数	時間×人	737 × 3	737 × 3	400 × 3	400 × 3	400 × 3	400 × 3
	正職員以外の人件費	千円						
その他費用C		千円	292	322	322	322	322	322
トータルコストA+B+C		千円	95,750	69,764	97,636	141,218	106,506	141,918
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 人	2	1	2	2	2	2
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	610301	公共交通推進事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

平成１３年4月２８日　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

市民意識調査の結果

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

□変化していない
■変化している → 変化した内容：民間バス路線の廃止／市民ニーズの多様化

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

・さらなるバス利用促進方策の検討
・サービス水準を低下させずに経費の削減を図る方策等の検討

3 評価（SEE）				
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			根拠法令	なし
			この事務を行う根拠又は理由	市民の移動手段の確保と環境負荷の軽減を図るため
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大／□縮小 ■できない	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加／□拡充／□絞込み ■できない	内容	
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	■できる □できない	理由又は内容	新たな利用促進策として、路線の再編やダイヤの改正及び近隣コミュニティバスとのネットワーク化により利便性を向上させる。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → □庁内事業／■庁外事業 □ない	類似事業名	名鉄バス、三好丘ループバス
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容： ■ない
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	■ある □ない	内容	車内広告募集により収入の確保を図る。 利用率の低い便の運行可否の検討。
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	■ある → □現状で適正／■検討が必要 □ない → □現状で適正／■検討が必要 □受益者がいない	内容	路線拡充及びバス車両増車に伴う経費増大に対応した受益者負担の見直しを検討する必要がある。

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	↑　増加	事業費の方向性	↑　増額	成果の方向性	↑　向上
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど	今後もさんさんバス運行に対する評価を行い、さんさんバス事業の方向性を明確にする。平成２８年度には、交通基本計画の見直しに着手する。					